

「ファシリテート力」ありませんか？

昨年^{さくねん}から一年延期^{いちねんえんき}となったTOKYOオリンピック・パラリンピックが開催^{かいさい}され、私もたくさん^{わだし}の感動^{かんだう}をいただきました。すごいなあと思^{おも}ったことの一つに、ボッチャの杉村選手^{すぎむらせんしゅ}のスギムライジングがあります。究極^{きゅうきよく}の技^{わざ}ですよ（下の説明^{せつめい}をご覧ください）。自分にできることを突き詰め^{つづめ}、身につけた超人^{ちやうじん}的な技^{わざ}には感動^{かんだう}を覚^{おぼ}えます。

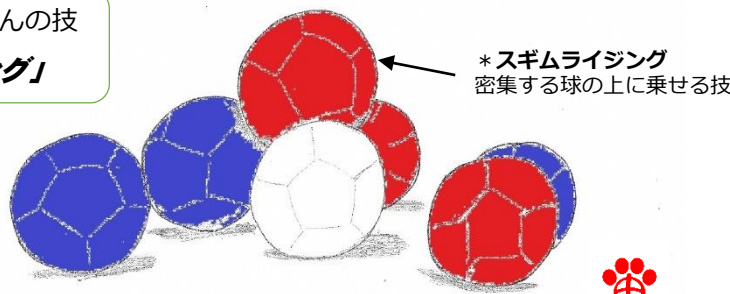
さて、当センターでは、社会教育関係者^{しゃかいきやういくかんけいしや}に求められる資質・能力^{ししつ のうりよく}としてコミュニケーション力、コーディネート力、ファシリテート力、プレゼンテーション力、企画・立案力^{きかく りつあんりよく}をあげています。これらの資質・能力^{ししつ のうりよく}は、全てスキルアップできますよね。ということは、そこには技^{わざ}があるということです。この中でも、特に3回に分けて講座^{こうざ}を組んでいるのが、ファシリテーター養成講座^{ようせいこうざ}です。社会教育においては対話^{たいわ}の場^ばがとても大切^{たいせつ}なのですが、対話^{たいわ}の場^ばにはいろいろな人がいます。自分の意見^{いけん}を押し通^{とお}す人、考^{かんが}えがあっても言^いわない人などいろいろな人がいる中で、全員^{ぜんいん}から意見^{いけん}を出^だしていただくこと、そしてたくさん出^でた意見^{いけん}をまとめていくことが大切^{たいせつ}になります。それには、技^{わざ}が必要です。その技^{わざ}を身につけた進行役^{しんこうやく}が、ファシリテーターなのです。今年^{ことし}の養成講座^{ようせいこうざ}には、技^{わざ}をすでに身につけておられる浜田市^{はまたし}の5名^{かた}の方に「研修サポーター」としてご協力^{けんしゅう}いただいております、サポーターの方々^{かたがた}にとっては、習得^{しゅうとく}した「技^{わざ}」を披露^{ひろう}する場^ばの一つになると考^{かんが}えています。

実は、どこの市町村^{しちやうそん}にも「ファシリテート力」を身につけられた方^{かた}はおられます。「しまねの社会教育だより33号」には、社会福祉協議会^{しゃかいふくしきやうぎかい}の方^{かた}でファシリテーター養成講座^{ようせいこうざ}を修了^{しゅうりやう}され、活躍^{かつやく}されている事例^{じれい}もありますが、今後^{こんご}も一層^{いっそう}様々な分野^{さまざまなぶんや}でファシリテーターの活躍^{かつやく}が期待^{きたい}されているところです。

社会教育は「人づくり」です。分野^{ぶんや}関係^{かんけい}なく、「技^{わざ}」を身につけたい方が「無料^{むりよう}」で受講^{じゅこう}できるのです。スギムライジングほどの超人^{ちやうじん}的な技^{わざ}となるかどうかは、その後の努力^{どりよくしだい}次第^{さいだい}ですが、対話^{たいわ}の場^ばをもっと充実^{じゅうじつ}させたいと考^{かんが}えておられる方は、ぜひご相談^{そうだん}ください。

西部社会教育研修センター所長 真島 陽一

ボッチャ杉村さんの技
「スギムライジング」



これまでの研修・講座の様子

公民館等職員研修

「種」から住民とともに育てる事業（全5回シリーズ）

第1回（5/28）

「種から住民とともに育てる事業」

- ◇講義「人づくり・つながりづくりを進める公民館等の役割」
- ◇講義「事業づくりのポイント」
- ◇事例発表「公民館等の事例」
- ◇住民主体のまちづくりを支える公民館
浜田市三保まちづくりセンター主事
野尻 かおりさん
- ◇演習「事業の種探し」



公民館の役割は、「学び」を核として人づくり・つながりづくり・地域づくりを目指すこと

発表は三隅公民館での取組です。



第2回（6/4）

「住民をその気にさせて事業に巻き込むポイント」

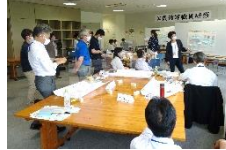
- ◇演習「事業の種の情報交換」
- ◇演習「住民とともに事業をつくるためにターゲットを巻き込むために」
- ◇説明
- ◇演習「事業計画づくり」



第3回（6/29）

「事業実施に向けての悩みをみんなで解決」

- ◇演習「事業計画案についての情報交換」
- ◇講義「事業の評価と対象者の見取り」
- ◇演習「評価指標に作成」
- ◇説明「事業の記録について」
- ◇演習「事業計画案の今後の見通し」



コーディネーター研修 6/9浜田合庁

～これからの「地域と学校の連携・協働」とは～

- ◇講義「『地域と学校の連携・協働』のこれから」（リモート） 下関市立大学 准教授 天野 かおり さん

◇国の施策から
めざすのは、「地域とともにある学校づくり」・「学校を核とした地域づくり」の実現

◇コーディネーターに期待される役割
生涯学習・社会教育の視点から、人づくり・つながりづくり・地域づくりを地域課題に取り組む人のネットワーク化等

- ◇地域学校協働活動
・「支援」から「連携・協働」へ（地域が学校と目標を共有し行う双方向の活動へ）
・「個別の活動」から「総合化・ネットワーク化」へ（横の連携を）
・コーディネート機能の充実（持続可能な機能充実を図る）

◇コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の関係
学校と地域による、役割と責任の分かち合い、目標の共有

◇実践発表：美郷町 地域学校協働活動の取組「どうか間に入らせてください！」

地域学校支援コーディネーター（大和地区担当）森下 奈保子 さん

地域学校支援コーディネーター（邑智地区担当）原田 羽留奈 さん

美郷町教育委員会派遣社会教育主事

藤住 亨 さん



コーディネーターとして学校に席を置いたことで、先生たちの思いや大変さに気づきました。その他にも次のような良い点がありました。

- ・子どもたちや先生とのコミュニケーションが増えた
- ・先生の都合のいい時間に活動の打ち合わせができる
- ・学習の流れが把握できたことで、協力してくれる地域の方への情報提供が増えた
- ・先生から相談されるようになった など

昨年度始まった事業（山くじら学習・江の川の漁業）は、

地域側の子どもたちに伝えたいという思いと、先生の知りたいという思いをつないだものでした。その中で自分たちも楽しんで活動出来ました。

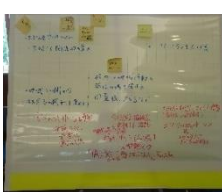
コーディネーターとして、とにかく地域にでかける、打ち合わせやふり返りをする、モヤモヤしたことはその日のうちに解決することを心がけています。



◇演習「取り入れよう！明日からのコーディネートに向けて」

□講義・実践発表を通して「自分もとりたいいな」と思ったことを紹介しあう

□どうすれば実現できるか話し合う



しまねの社会教育基礎講座 7/8 (浜田会場)

【講義】社会教育の役割と県社会教育で大切にしたいこと
「“集って” “楽しむ”からの動きをつくる」

浜田教育事務所社会教育スタッフ企画幹 山藤 真樹 さん

- 1.社会教育とは
- 2.社会教育の担い手
- 3.しまねの社会教育で大切にしたいこと
- 4.実践するうえで大切にしたいこと
- 5.社会教育関係者に求められる資質・能力



【実例発表】「映画、作っちゃいました!」

三原まちづくりセンタースタッフ 大友 葉子 さん

コロナ禍の影響で、催しがほとんど中止になってしまう中、映画上映の話が持ち上がりました。しかし実行するにはいろいろな制約が…。『じゃ～作ればいい!』のひとと言がきっかけで一年の映画制作に突入しました。

『魅力的な三原の“今”を楽しく伝えたい!』『スタッフやキャストはすべて川本町民で』『川本町のひと、もの、ことの再発見』を制作の目的にしました。映画に登場した住民は200人!読み合わせやリハーサルもおこなわれ、三原の魅力が詰まった映画が完成しました。

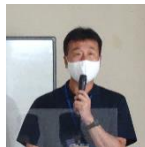
多くの地域の人と関わることができ、つながりがひろがったこと、鑑賞した三原地区の人たちが喜んでくれたことが何より嬉しかったです。映画制作を通して一歩踏み出し自ら楽しむ事を、社会教育の研修からは学び続ける大切さを学びました。

しまねの社会教育基礎講座 7/13 (益田会場)

【講義】社会教育の役割と県社会教育で大切にしたいこと
「“集って” “楽しむ”からの動きをつくる」

益田教育事務所社会教育スタッフ企画幹 澤江 健 さん

- 1.社会教育とは
- 2.社会教育の担い手、求められる資質・能力
- 3.しまねの社会教育で大切にしたいこと
- 4.まとめ



【実例発表】「ちょっとのぞいてみんなちやい
『初めての公民館講座』」

益田公民館主事 吉岡 恵 さん

益田地区は、元気な高齢者に支えられていますが、40・50代の公民館活動への参加はほとんどありません。そこで取り組んだのが、「公民館講座」をきっかけに、40・50代の仲間をつくらう、地域の人に公民館に興味をもってもらおうというものでした。まず、その世代の思いを知るため「事前アンケート」を実施しました。ターゲットは、同級生やママ友などの知り合いに絞り、SNSを通してアンケートを行い、その都度丁寧に説明を加えました。講座名には、気軽に来てほしいという思いを込めました。

アンケート結果から3つの事業を選び実施する中、コロナ禍の影響で3回目が中止になってしまいましたが、そのピンチを救ったのが講座の参加者の一人でした。急遽、「大人のキャンプデビュー講座」が行われ盛り上がりしました。アンケートには、自分では始められないことに挑戦できた、地域の人と交流できたなどの感想が寄せられました。小さなことを積み重ねていくことで思いもよらないことを経験し、自分自身張り合いを感じています。

ファシリテーター養成講座

楽しみながら“対話の場”をつくる (全3回シリーズ)

第1回 (8/26) 「参加型に浸り、楽しむ!」

【体験①】アイスブレイク体験

■意図的な流れで構成されたアイスブレイクを体験する

- ☆バースデーチェーン (全員で)
- ☆共通点探し (ペアで)
- ☆ジェスチャーゲーム (グループで)

研修サポーターの
 佐々木さん・江木さんに
 協力していただきました。



【体験②】参加型学習の体験

■モデルプログラム (魅力化プログラム4-②「もし1日前に戻れるなら…」) を体験する



【体験③】参加型学習のさまざまな手法体験

■各ブースを回り、手法の特徴やファシリテートのポイントを聞く

☆ワールド・カフェ

☆フリップ

☆ランキング

☆ブレインストーミング

☆カードワーク

☆リフレーミング



【講義】「参加型学習の意義・ファシリテーターとは」

■参加型学習の意義、ファシリテーターの役割、学習プログラムの構成について聞く

- ・参加型学習とは
- ・参加型学習に期待される効果
- ・ファシリテーターの役割
- ・学習プログラム

【説明】「学習プログラムの企画・設計について」

■「地域魅力化プログラム」進行表の作成手順に沿って学習プログラムの企画・設計のポイントを知る

【演習】場を決め、学習プログラムの見直しをもつ

■自分の職場・立場などの様子を思い浮かべ、自分で参加型学習を仕掛ける場面を見つけることができる



今後の研修・講座予定

社会教育委員研修

10月1日に予定していましたが「社会教育委員研修」は、集合しての研修は取りやめ、講義・実践発表を動画配信することになりました。詳しくは、各市町村の教育委員会へお問い合わせください。

講義：山本 珠美 さん（青山学院大学教授）
実践発表：鳥居清枝 さん（邑南町社会教育委員）
原田千恵美 さん（邑南町教育委員会）

10/26
(火)

第3回

ファシリテーター 養成講座

地域住民役
募集！

会場：いわみーる

11/18
(木)

つなぐ・つながる 実践発表交流会 2021

～繋がりよう 子どもと共に輝く私たち～

講師：国立教育政策研究所 総括研究官

志々田 まなみ さん

実践発表

松江市：「松江一中校区地域学校協働活動の取組」 中田光俊さん
出雲市：「家庭教育支援の取組」 三成圭寿さん・森脇淳志さん
浜田市：「浜田一中校区での放課後支援の取組」 栗栖真理さん
益田市：「西益田地区の保幼こ小中高特と地域をつなぐ取組」 石川有里さん・田原俊輔さん
津和野町：「多様な主体と連携・協働による子どもと大人の居場所づくりの取組」 中村和恵さん・住田桃子さん
舟山宏輝さん・石川元輝さん・佐々木将光さん
隠岐の島町：「子育てサークル『オヤトコ♡』の取組」 齋藤智美さん

会場：サン・レイク

12/7
(火)

第5回

公民館等職員研修 東西合同発表会

日程
変更

会場：少年自然の家

コロナ感染症拡大のため、年度当初の予定が変更されています。また、今後の状況により、研修の日程等が変わることがあります。その場合は、市町村教育委員会・ホームページ等を通じてご連絡します。

感染症対策に留意しながら研修等実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

1/24～
1/28

生涯学習概論

オンライン

1/31～
2/4

社会教育経営論

オンライン

2/7～
2/14

生涯学習支援論

会場：いわみーる

2/15～
2/21

社会教育演習

会場：いわみーる

社会教育主事講習B

2022年実施/土・日除く/一部オンライン受講

放送大学島根学習センター「だんだんセミナー」について

放送大学島根学習センターで行われている「だんだんセミナー」が、浜田コーナー（西部社会教育研修センター内）で、オンラインにより受講可能となりました。自宅でも視聴できます。ぜひご参加ください！

10/27(水) 10:00～11:30

「フランスの文化と言葉」

講師：島根大学法文学部准教授
安齋 有紀 さん

場所：いわみーる3階
(302研修室)
定員：20名

入場無料
どなたでも参加可
事前申込必要

11/19(金) 14:00～15:30

「お天気よもやま話」

講師：島根大学名誉教授
島根学習センター所長
田坂 郁夫 さん

12/15(水) 13:30～15:00

「心理学から見える 日常生活の面白さ、 私たちの面白さ」

講師：島根大学名誉教授
石井 徹 さん

申込み先

放送大学島根学習センター
TEL：0852-28-5500
西部社会教育研修センター
TEL：0855-24-9344

西部センターだより 2021年度2号（令和3年9月30日）

発行 島根県立西部社会教育研修センター

〒697-0016 浜田市野原町1826-1（いわみーる 3F）

TEL：(0855) 24-9344

FAX：(0855) 24-9345

Eメール：seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp

URL：https://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/